

V 家庭・地域の教育力の向上

1 学校・家庭・地域の連携強化

学校・家庭・地域が一体となって、子どもを育てる活動を展開します。

子ども、教職員、保護者、地域住民が協力して、挨拶や声のかけ合い、また、共に活動することを通して、「礼儀」、「思いやり」、「将来の夢」等、豊かな心を育み、学校・家庭・地域の活性化を目指します。

(1) 家庭・地域と一体となった学校の活性化

現状と課題

園・学校・家庭・地域社会が一体となって、子どもを育てる活動の一環として、「スマイルあいさつ運動」を展開しています。子ども、教職員、保護者、地域住民が連携協力して、挨拶や声をかけ合うことを通して、「礼儀」、「思いやり」等、豊かな心を育み、学校・家庭・地域社会の活性化を目指しています。

また、市立全中学校が、生徒指導に関する地域ボランティアを募り、学校サポート委員会を組織し、地域の教育力をいかながら、子どもの健全育成を図っており、各委員からの情報を子どもの指導に役立てています。

「スマイルあいさつ運動」等の取組において、学校間で、取組を交流する場が少なく、優れた実践があるものの、全市立幼稚園・こども園・小学校・中学校にわたる施策の拡充が課題となっています。

対応方針

- 学校・家庭・地域社会が一体となって、子どもを育てる活動の一環として、学校や地域の実態に応じた継続的な取組の充実を目指します。
- 学校サポート委員会等、学校を支援する組織を充実させ、地域の教育力をいかながら、学校のサポートと子どもの健全育成を目指します。

施策

- 「スマイルあいさつ運動」を継続的に実施するとともに、小中合同で行うなど、工夫した取組に努めます。
- 地域の教育力をいかながら子どもの健全育成を図り、高松市地域サポートチームの効果的運用を支援するための「学校サポート委員会推進事業」の適切な運用に努めます。
- 新番丁小学校サポート協議会をモデルとして、学校・家庭・地域が一体となった高松型学校支援体制の構築に努めます。
- 小・中学校における問題行動の減少及び落ち着いた学習環境を保障するため、地域の人材を活用して実施しているハートアドバイザーの有効活用や、社会福祉士等の資格を持つスクールソーシャルワーカーの配置の拡充に努めます。
- 幼稚園・こども園・保育所が保護者からの相談の機会を増やすとともに、様々な行事

や保護者会等を通して、子育て支援の充実に努めます。

- 地域に開かれた幼稚園づくり推進事業等の実施により、家庭・地域との連携による子育て支援の充実に努めます。

【施策の目標】

項目	H26年度末数値	H31年度末数値	H35年度末数値
学校・家庭・地域が協働で教育活動の支援に取り組む仕組みを設けている学校数	1校	10校	20校



2 家庭及び地域の教育力向上の推進

家庭教育学級、子どもを中心にした地域交流事業などの実施により、家庭・地域の教育力向上に取り組みます。

また、多くの保護者が集まる機会を活用した規則正しい生活習慣づくりのための啓発や生活リズムチェックシートを配布するなど、子どもたちへの啓発にも取り組みます。

(1) 家庭の教育力の向上

現状と課題

家庭教育は、子どもの健全な成長、人格の形成にとって大変重要な役割を担っていますが、少子化、核家族化、都市化、地縁関係の希薄化など、家庭を取り巻く社会環境が変化し、子育てに不安や悩みを持つ保護者の増加が見られ、家庭における教育力の低下が指摘されているほか、成長期の子どもにとって当たり前で必要不可欠である適切な運動や、調和のとれた食事、十分な休養・睡眠などの基本的な生活習慣の乱れが、学習意欲や体力、気力の低下の要因の一つとして問題視されています。

このようなことから、個々の家庭の問題として見過ごすのではなく、社会全体の問題として捉え、地域・学校と連携した家庭教育への支援が求められています。

核家族化の進行や生活習慣、保護者の価値観等が多様化する中、保護者に対して、子育てや家庭教育を学習する機会の拡充を図るほか、子どもの規則正しい生活習慣づくりの啓発に取り組む必要があります。

対応方針

- 家庭や地域の教育力を高め、子どもの健全育成を図るため、PTAや地域の婦人団体等が家族の役割や子育てについて自主的に学習できる機会を充実させ、家庭教育に関する情報の提供の活発化を図ります。
- 子どもの生活リズムを向上させ、学習やスポーツ・読書など、様々な活動に生き生きと取り組むことのできる子どもを育成するため、「早寝早起き朝ごはん運動」の普及・啓発を図ります。

施策

- 市が講座等を開催するほか、関係団体と協力し、子育てについて学習する機会を充実するとともに、家庭教育情報テレビ事業の実施や家庭教育学級等の開催により家庭教育・子育て支援に関する情報の提供に努めます。
- 複雑・多様化する子育て相談に適切に対応するため、相談員のスキルアップのほか、関係機関との連携強化に努めます。
- 「早寝早起き朝ごはん」運動については、就学時健康診断実施時など様々な機会を捉え、より一層の普及・啓発に努めます。

- 子どもの基本的な生活習慣の確立には、家庭が果たす役割は大きく、保護者に対する普及・啓発が重要であることから、保護者が集る様々な機会を捉え、普及・啓発に努めます。

(2) 地域の教育力の向上

現状と課題

都市化や核家族化の進行などにより、地域における人と人とのつながりが希薄になり、地域の教育力の基盤となる相互扶助機能の低下が懸念されています。

また、子どもや保護者の交流範囲が学校や職場、家庭に偏る傾向にあり、地域住民と関わる機会が少なくなっています。

地域における人間関係の希薄化やコミュニケーションの減少が進む中、地域と家庭、学校が連携し、地域ぐるみで子どもを守り育てることが必要とされています。

対応方針

- 地域ぐるみで子どもを守り育てる活動を支援し、地域の教育力の向上を目指します。
- 子どもの健全育成に取り組む母親クラブ等地域組織活動を育成・支援し、子どもの健全育成を目指します。

施策

- 地域の教育力の向上を図るため、学校・家庭・地域が一体となって、地域ぐるみで子どもを育てる連携体制の構築に努めます。
- 地域全体で子育て支援ができるよう、高齢者や子育て経験者等、より多くの住民参画を図り、幼児から小学生はもとより、中・高校生も参加できる各種行事・講座等の開催を始め、人材発掘・育成や情報交換、子どもを中心とした地域交流事業を新規に実施する等、相互交流の機会づくりなど活動内容の充実に努めます。
- 各種団体間の情報交換や相互交流を支援し、地域における子育て支援ネットワークづくりを推進します。



【施策の目標】

項 目	H26年度末数値	H31年度末数値	H35年度末数値
朝ごはんを食べている子どもの割合（小6）	87%	89%	91%
「子どもを中心とした地域交流事業」を実施している地域の割合	—	90%	100%